

# 平成26年度「健診内容一覧表」

検査の内容		一般健診		定期健診(注2)			備 考	
		政府管掌	対象外(注1)	( )	( )	( )		
診察等	問診						既往歴や自覚症状などを質問し、診断の参考とする。	
	計測/身長・体重・標準体重・BMI						肥満は、生活習慣病を誘発し悪化させるため、【肥満の度合い】を判定する。	
	腹囲測定				×	×	【メタボリックシンドローム】の基準となります	
	視力検査						【近視・遠視・乱視】など、目の働きの度合いを調べる。	
	聴力検査						【難聴】の有無や程度を調べる。	
	胸部聴診・腹部触診						聴診で心臓や肺(胸)、触診で胃腸や肝臓などの腹部臓器の様子を調べる。	
血 圧	血圧測定(座位)						高血圧は、血管の老化を早め、【心臓病・脳卒中】などの病気を招く恐れがあります。	
尿	糖半定量						【糖尿病】発見の手がかり。	
	蛋白半定量						尿に蛋白が出ているかどうか調べる。【腎臓病】発見の手がかりのひとつ。	
	潜血			×	×	×	【腎臓・尿管・膀胱・尿道などの異常】を見つける。微量の出血でもこの検査でわかる。	
大 腸	免疫便潜血反応検査(2日法)			×	×	×	消化管からの出血の有無を調べる。【大腸がん】の早期発見にも重要。	
血液一般	血色素量(ヘモグロビン)					×	赤血球の赤い色素がヘモグロビンで酸素の運搬役。【貧血】発見の手がかりとする。	
	赤血球数					×	【貧血】発見の手がかりとする。	
	ヘマトクリット値			×	×	×	血液中の赤血球が占める容量を測って、【貧血】発見の手がかりとする。	
	白血球数			×	×	×	【感染症、炎症】を知る手がかりとなる。	
肝機能・生化学	空腹時血糖			×		×	血糖が高いと【糖尿病】をはじめ【膵臓・肝臓の病気】が疑われる。	
	総コレステロール			×		×	【動脈硬化】をチェックするのに大切な検査。	
	GOT					×	血液中の微量酵素。【心臓・肝臓・骨格筋の病気】発見の手がかりとなる。	
	GPT					×	血液中の微量酵素。【肝臓の異常】の発見に役立つ。	
	ALP(アルカリフォスファターゼ)			×	×	×	血液中の微量酵素。【肝臓の異常】の発見に役立つ。	
	-GTP					×	血液中の微量酵素。特にアルコールの影響を受けやすいので、飲酒による【肝臓障害】のチェックに役立つ。	
	中性脂肪					×	エネルギー源で皮下脂肪の主成分。多くなり過ぎると【肥満や脂肪肝】となる。	
	尿酸			×	×	×	血液に含まれる物質の1つで、【痛風・高尿酸血症】のチェックができる。	
	クレアチニン			×	×	×	体内の老廃物の一種。血液に多いときは、腎臓からの排泄が正常でないことを示す。	
	HDL-コレステロール					×	善玉コレステロールと呼ばれ、比率が高いほうが動脈硬化になりにくい。	
	LDL-コレステロール				×	×	「悪玉コレステロール」と呼ばれおり、「動脈硬化の危険因子」と考えられており、	
ヘモグロビンA1c(血糖検査)	×	×		×	×	採血による【糖尿病】の検査です。過去2~3カ月の平均値を調べます。		
心電図	12誘導					×	【不整脈・心臓肥大・冠動脈】の症状など、心臓の異常を波形で検査する。	
X線検査	胸部	直接撮影(大角1枚)					肺や心臓の異常を見つける。【肺結核や肺がん】の発見に役立つ。	
	胃部	直接撮影(バリウム)			×	×	×	バリウムを飲んで造影し、【胃・十二指腸を異常】の有無を調べる。
		胃内視鏡検査(胃カメラ)			×	×	×	胃カメラにより、【胃・十二指腸の異常】の有無を調べる。
健診代金		7,030円	20,000円	7,830円	6,800円	3,890円		

健診代金に消費税は含まれています。

北広島病院 健康管理室 Tel(0120)40-8374

一般健診【政府管掌】の健診代金(7,030円)には、全国健康保険協会から助成金がでています。

「胃部の検査」は、「バリウムが基本」です。「胃カメラ」の場合は、「追加料金2,000円」が必要です。

(注1)の健診は、お住まいの地域、年齢、健康保険証の種類に関係なく、どなたでもお受けいただけます。また、1月~3月の期間は、「季節限定健診」と称し、健診代金を「15,000円」でお受けいただけます。

(注2)の健診は、労働安全衛生法律に基づく健診です。( )は「35歳を含む40歳以上」、( )は「35歳を除く39歳以下」が対象の内容です。

